



	書名	著者名	請求記号
1	両手にトカレフ	ブレイディみかこ著	913.6/Br
2	カルト村で生まれました。	高田かや著	916/Ta
3	図解超早わかり 18歳成人と法律	南部義典著	324/Na
4	あの時も「こうあるべき」がしんどかった：～ジェンダー・家族・恋愛～	パレットトーク著、ケイカマンガ	367/Pa
5	つながり続ける こども食堂	湯浅誠著	369/Yu
6	子どもが不登校になっちゃった！：「なんでウチの子が…」から先へ進める復学までのポイント	ラン著	371/Ra
7	きみのことがだいすき	いぬいさえこさく・え	726/In
8	かすがい食堂	ハ伽古屋圭市著	913.6/Ka
9	パリの空の下で、息子とぼくの3000日	辻仁成著	914/Ts
10	沈没家族：子育て、無限大。	加納土著	367/Ka
11	うちの息子はたぶんゲイ 1～2	おくら著	367/Ok/1～2
12	女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと	西原理恵子著	914.6/Sa
13	気づけない毒親	高橋り工著	367/Ta
14	子どもが危ない！スマホ社会の落とし穴	清川輝基・内海裕美共著	493.9/Ki
15	子どもが心配：人として大事な三つの力	養老孟司著	370/Yo
16	子どものための精神医学	滝川一廣著	493.9/Ta

両手にトカレフ

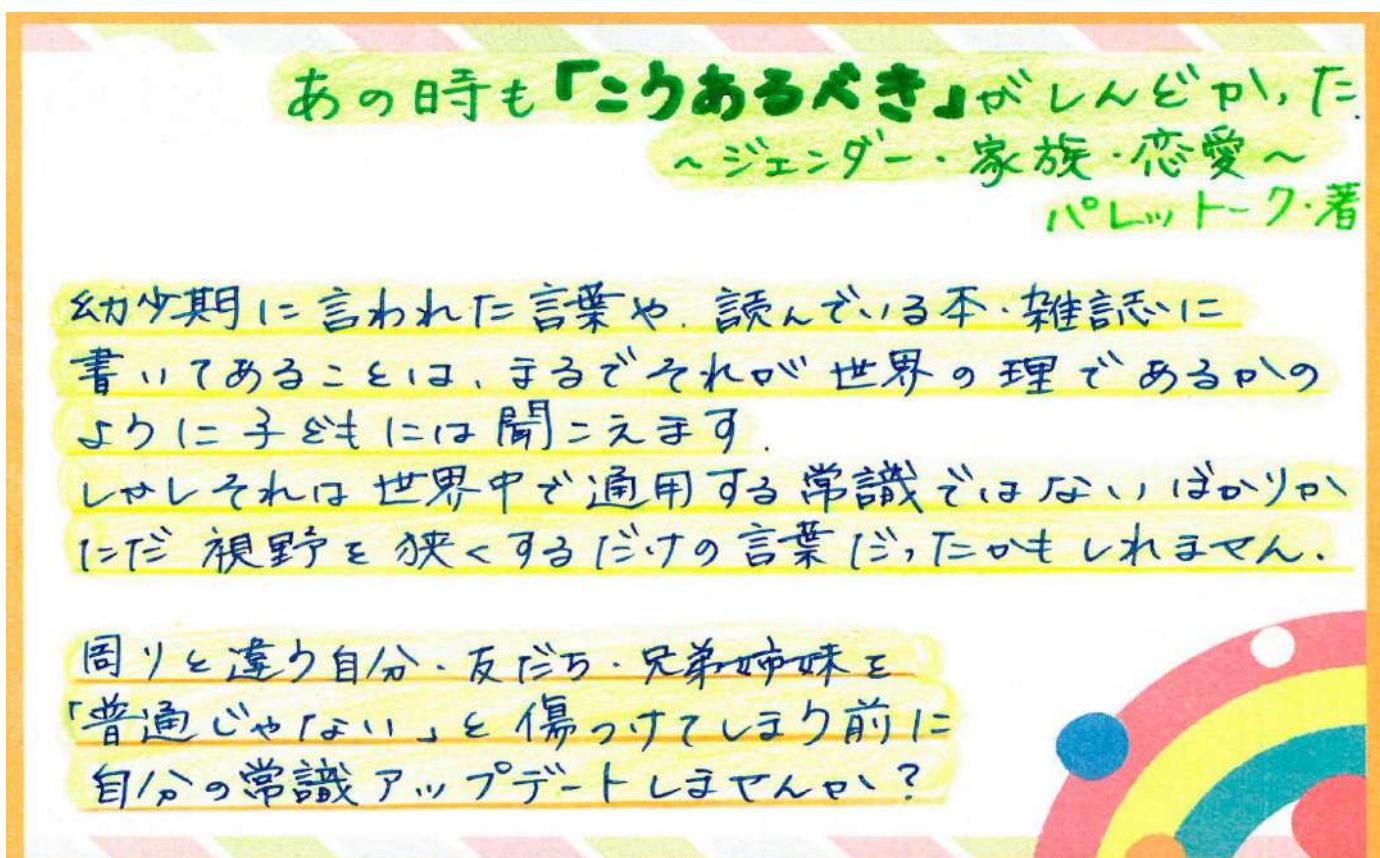
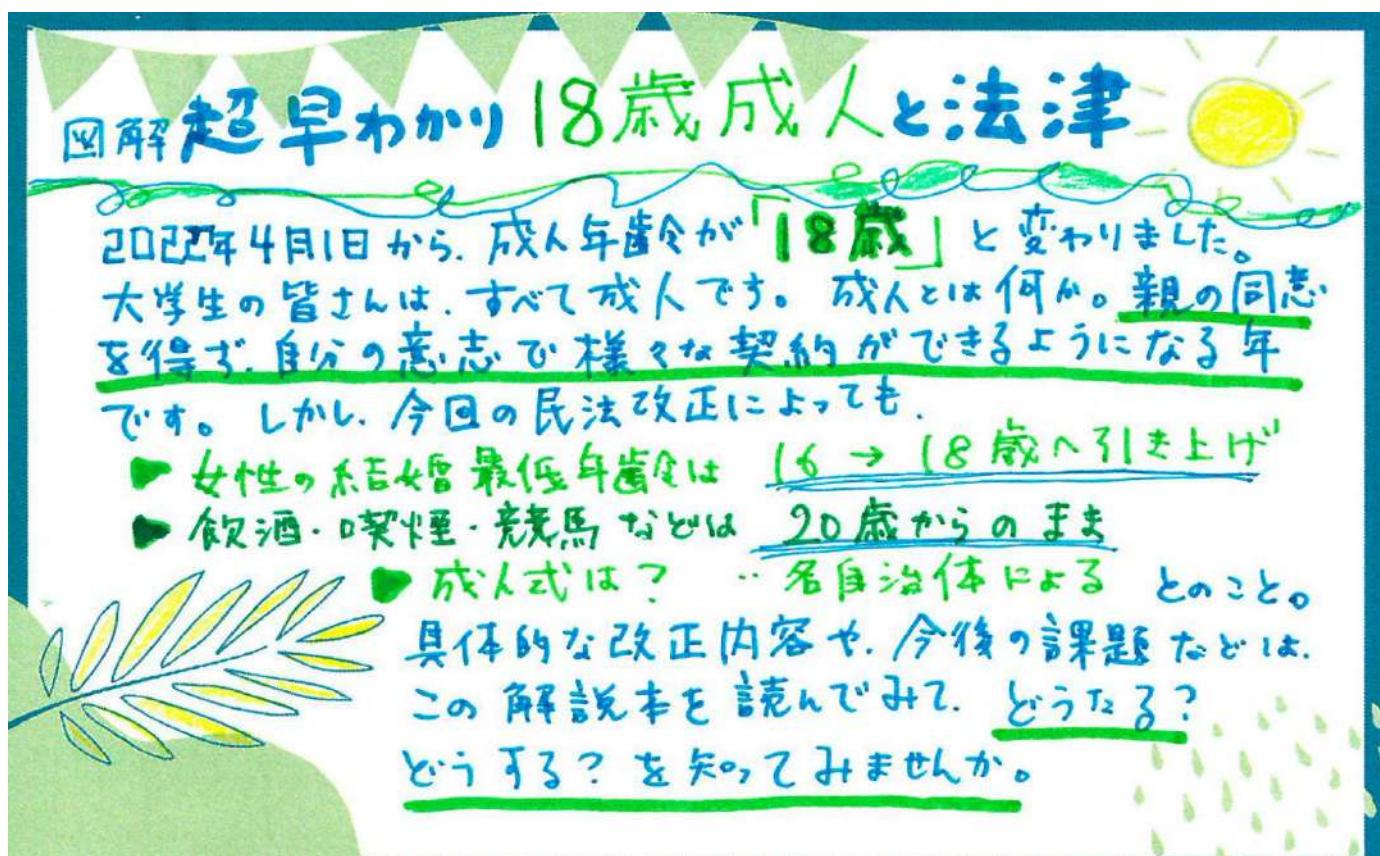
「レイディ カロニ

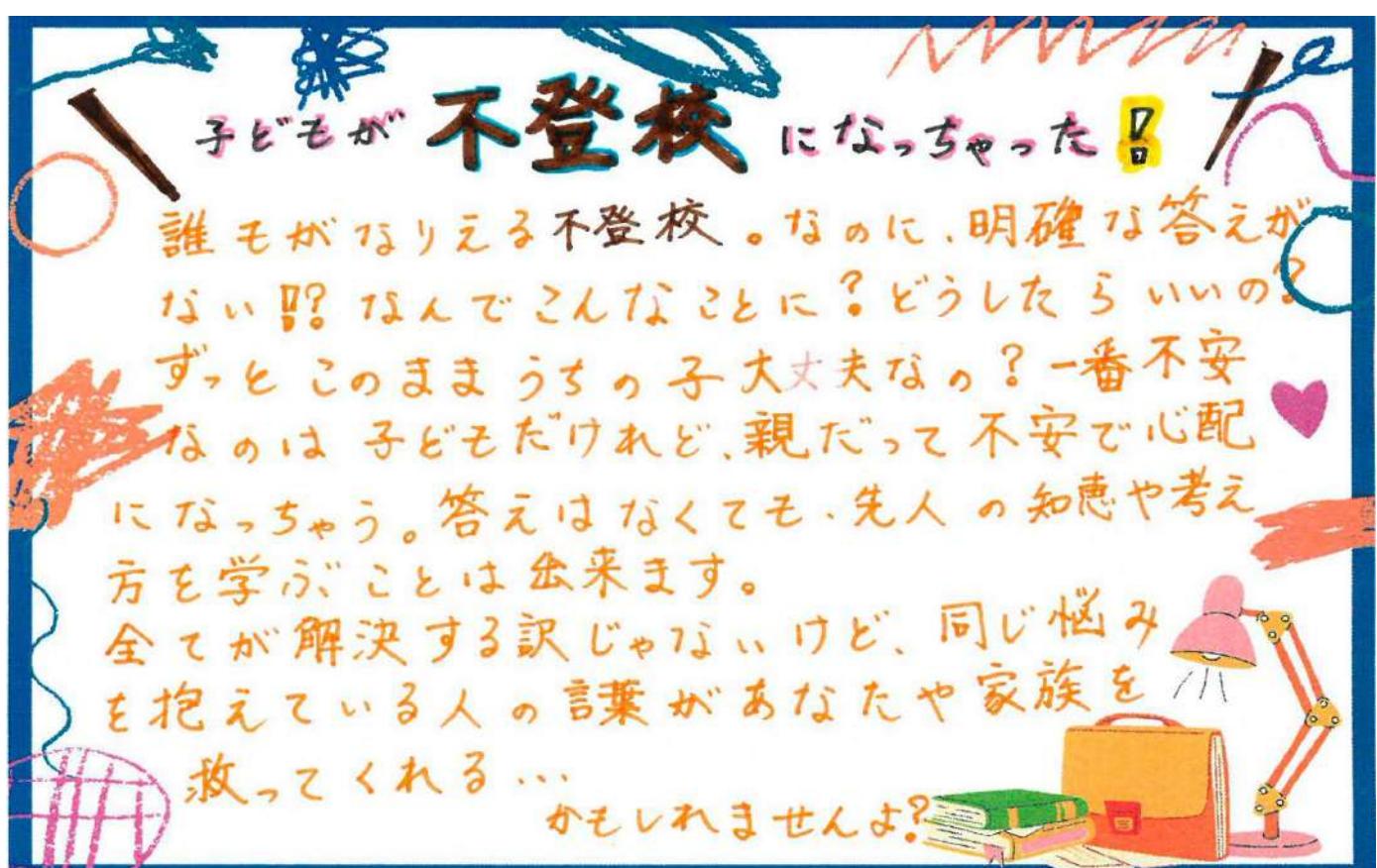
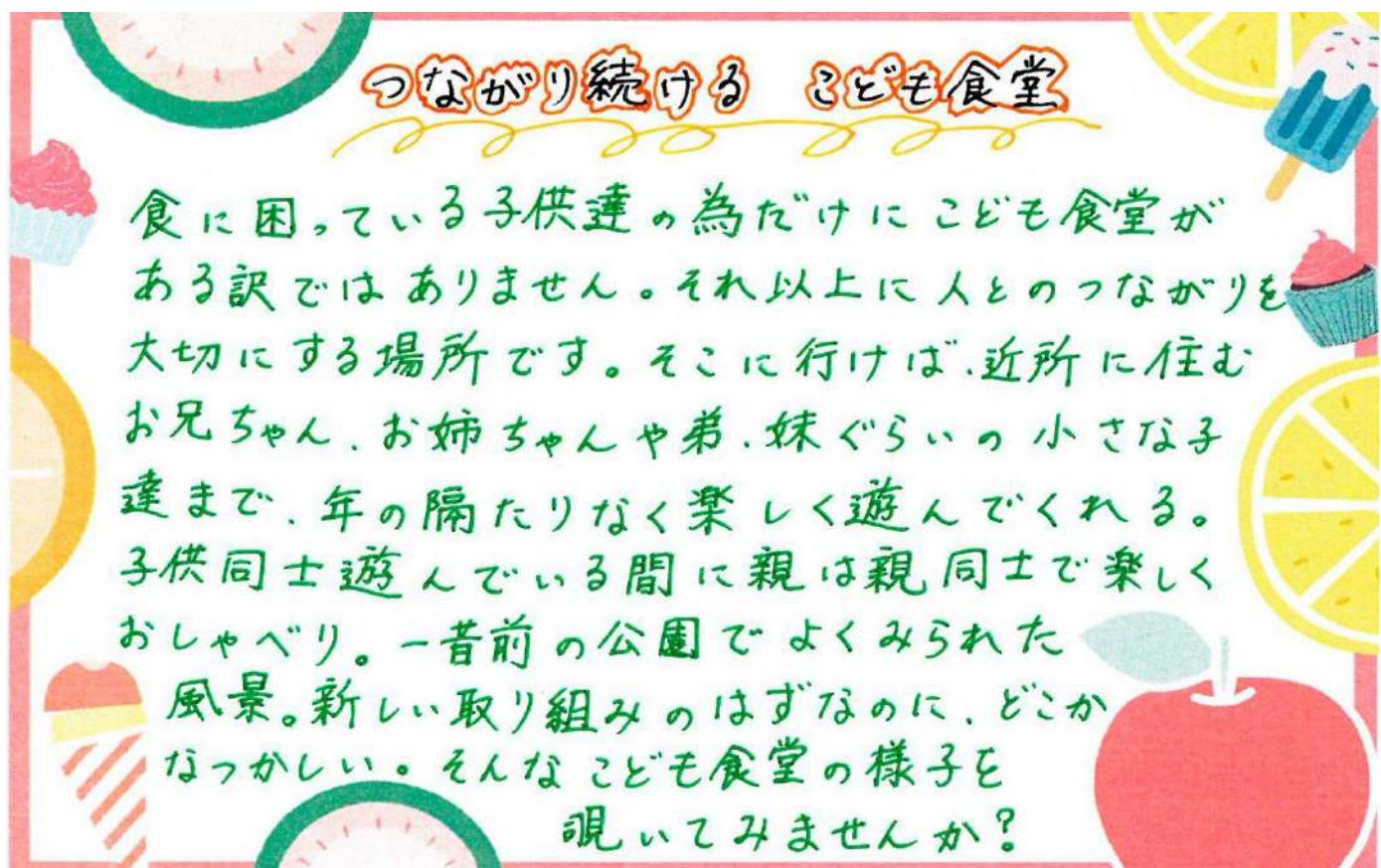
「親ガチャ」という言葉を最近よく耳にする。
 親の職業や経済力を理由に、自分の産まれた場所、環境を「当たり」「ハズレ」と分ける。『
 父はおらず、母は無職でブラック中毒、親ガチャは完全にハズレで貧乏からも非力な子供でもあるからも逃げられは』主人公のミア・金子文子に共感し、独りで立とうとする彼女は、イギリスに実在する1人女性アーティストを頭に留めながら読んでみてほしい。

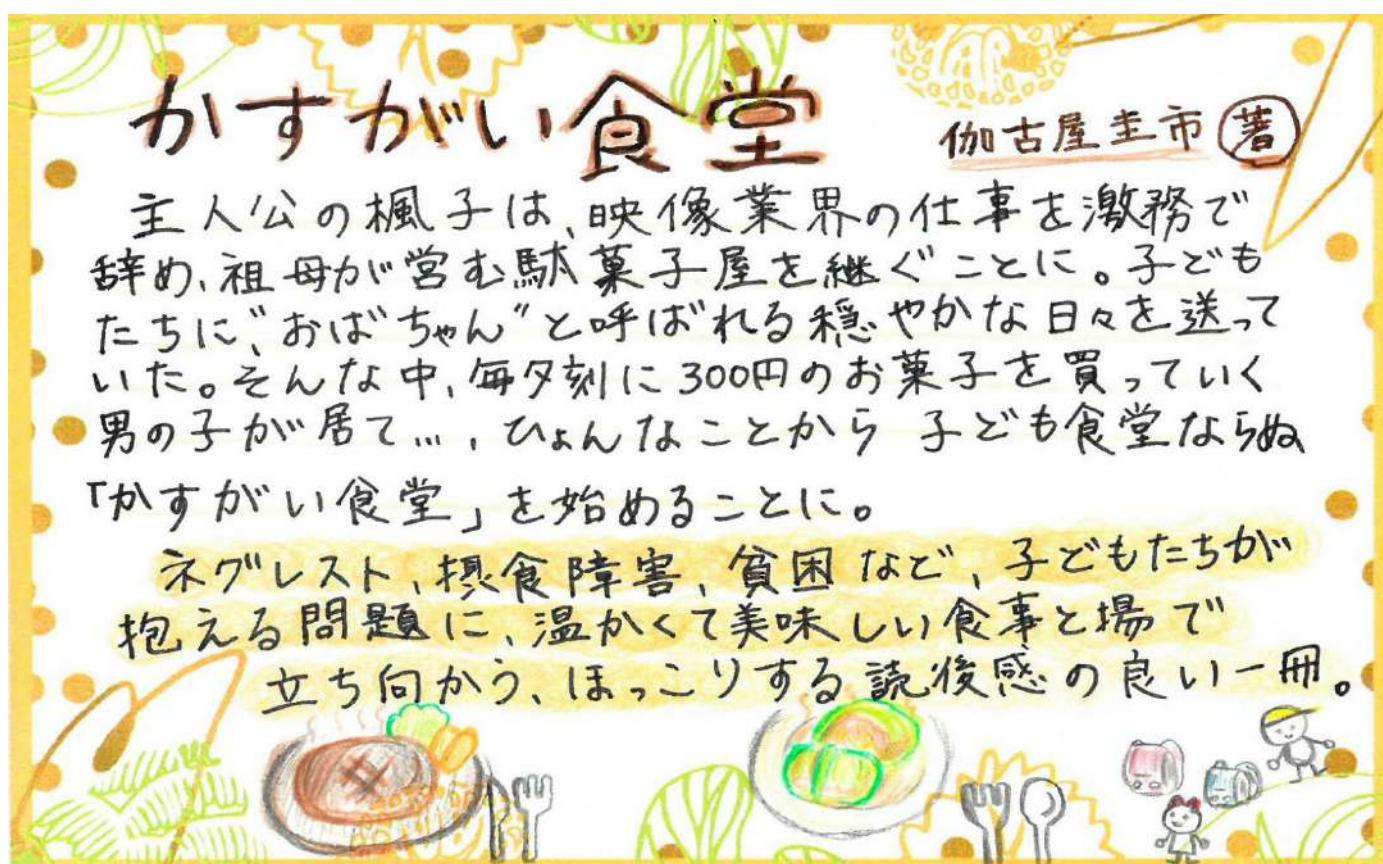
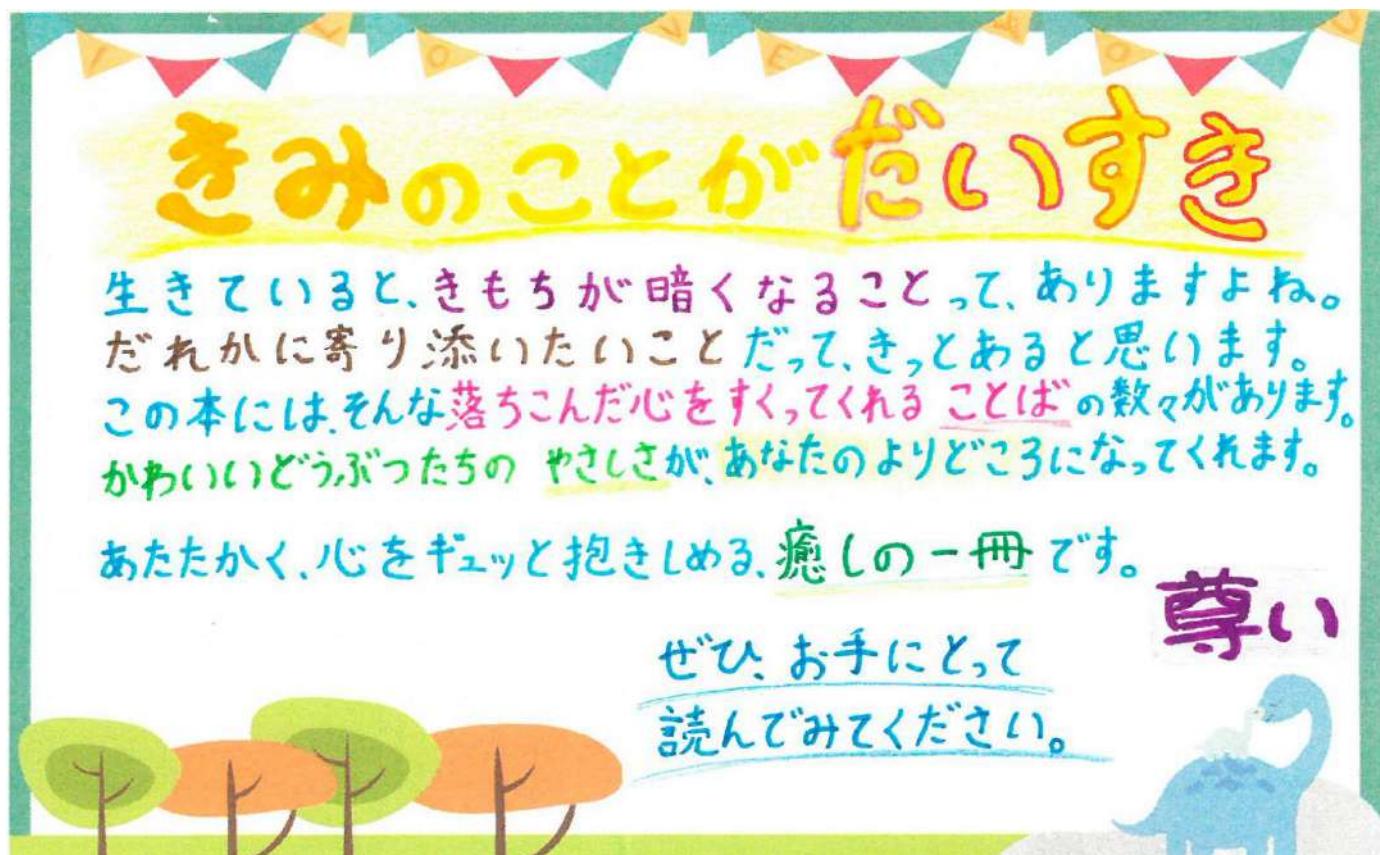
高田やや著

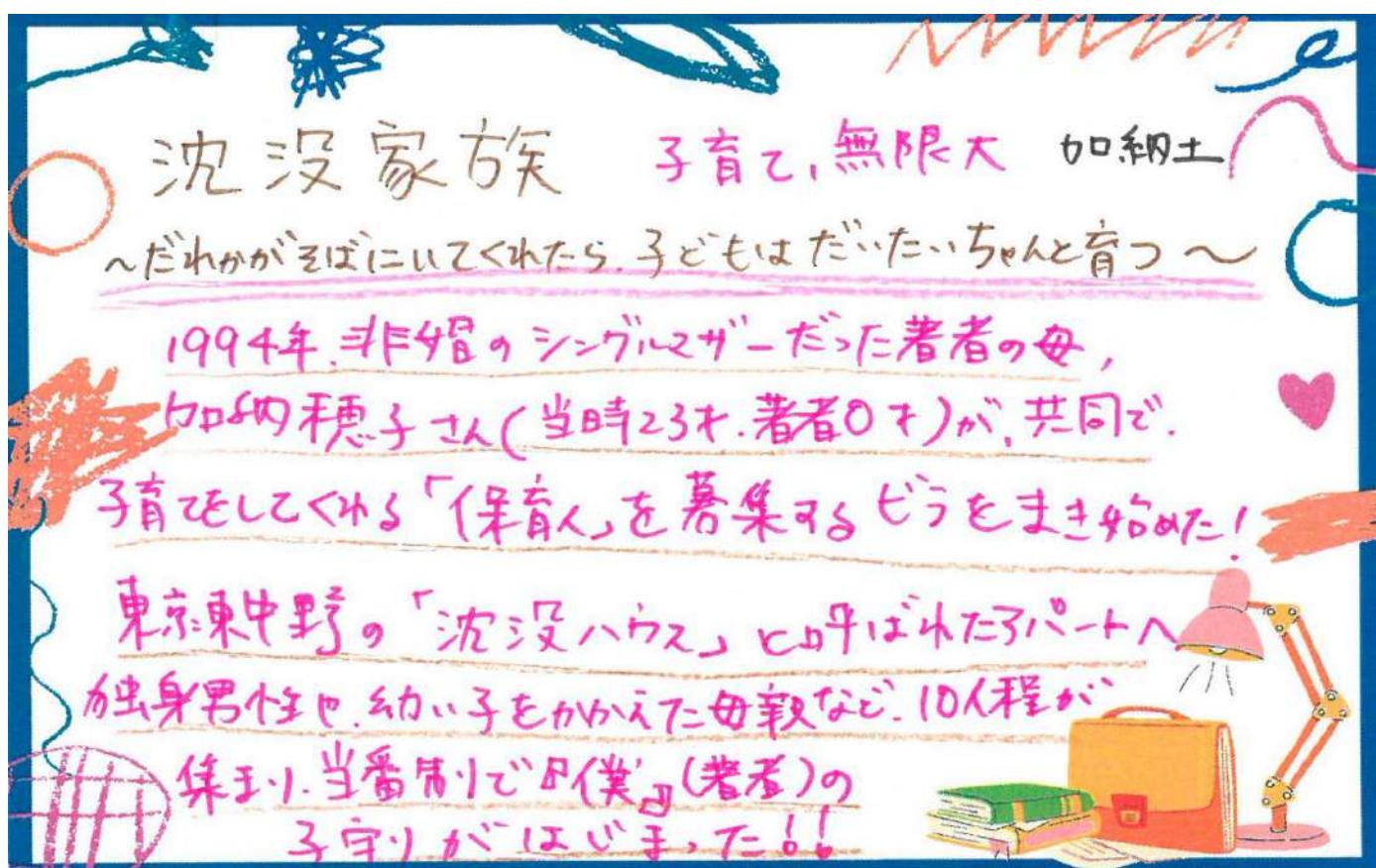
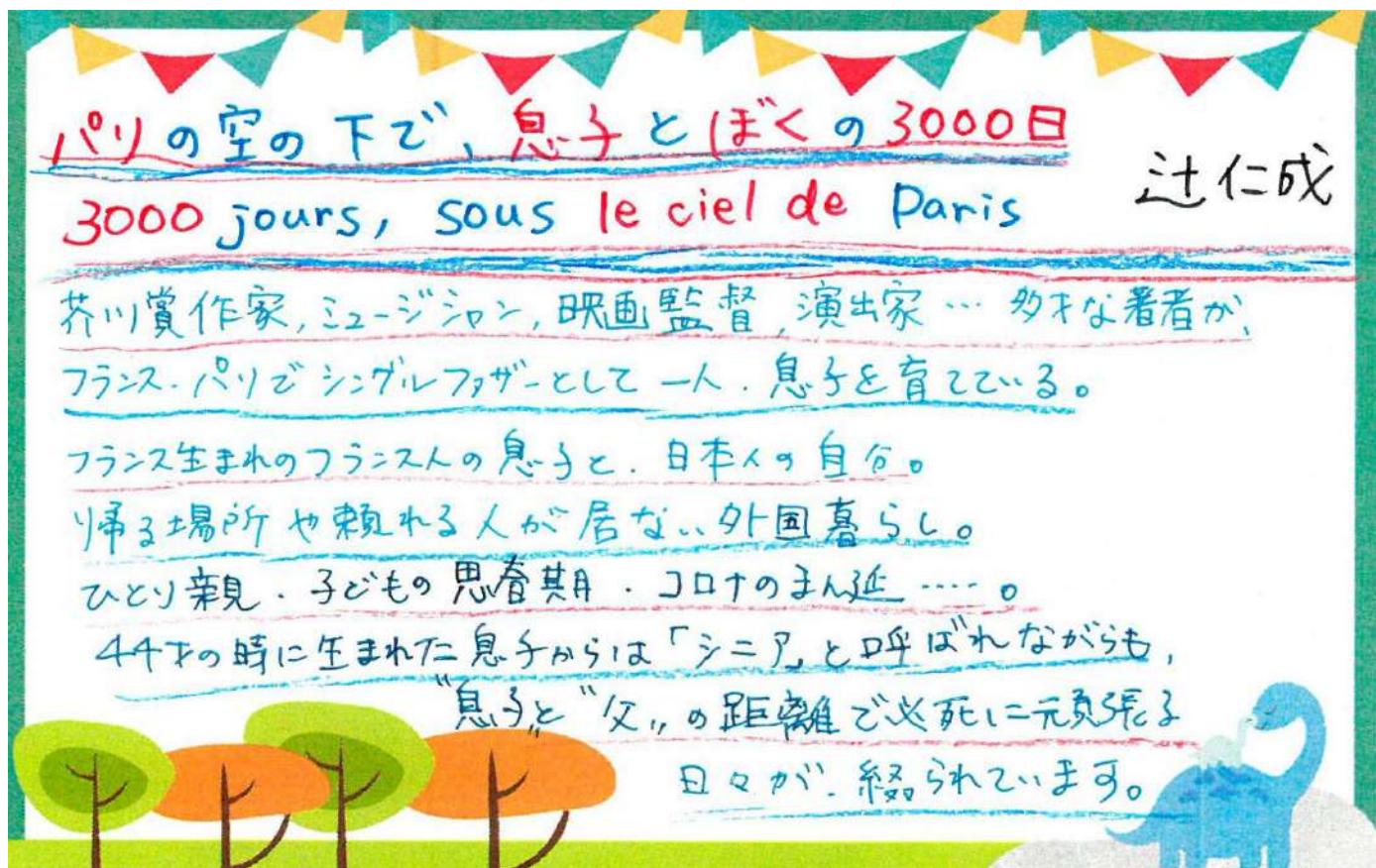
カルト村で生まれました。

家もお金も、服も食べものも個人が所有することを全否定する“カルト村”。
 20代でそれぞれ“入村”した両親とも離婚され、小学生の労働を課される環境で集団生活を送る。さて著者が語る詳細は“思ひ出話”は眉をひそめずにはいられないに何よりも“おかしい”……。
 この気持ち悪いところが、“カルト村”で生まれ育ったことによるものだと思ふ。









うちの息子はたぶんゲイ おくら著

「うちの息子はたぶんゲイで、素直でとてもかわいいの？」（本多み）

タイト通り、母親が、「むすこはゲイなのでは？」と疑問を抱きながら送る日々を経て、たにこみ、くでます。

母親自線で書かれているが、真相は分からまいか、息子本人は「隠さうとしているけど、バレてしまったら……。

「息子には息子の考え方や幸せがあるんだなあ」（本多み）

そう思えるお母さんがとても素敵です。

「むすこのゲイ」が「バレないか、ヒヤヒヤしまうか」、

読み物（本多み）うちには「むすこを肯定する母」に気がつき、ほのぼのとした気持ちになります。

女の子が生きていくときに、 西原 覚えていてほしいこと 理恵子

今年西原氏の娘のブログが発見されSNSがざわつきました。

現在は削除したようですが、彼女の抱えてきた苦しみが

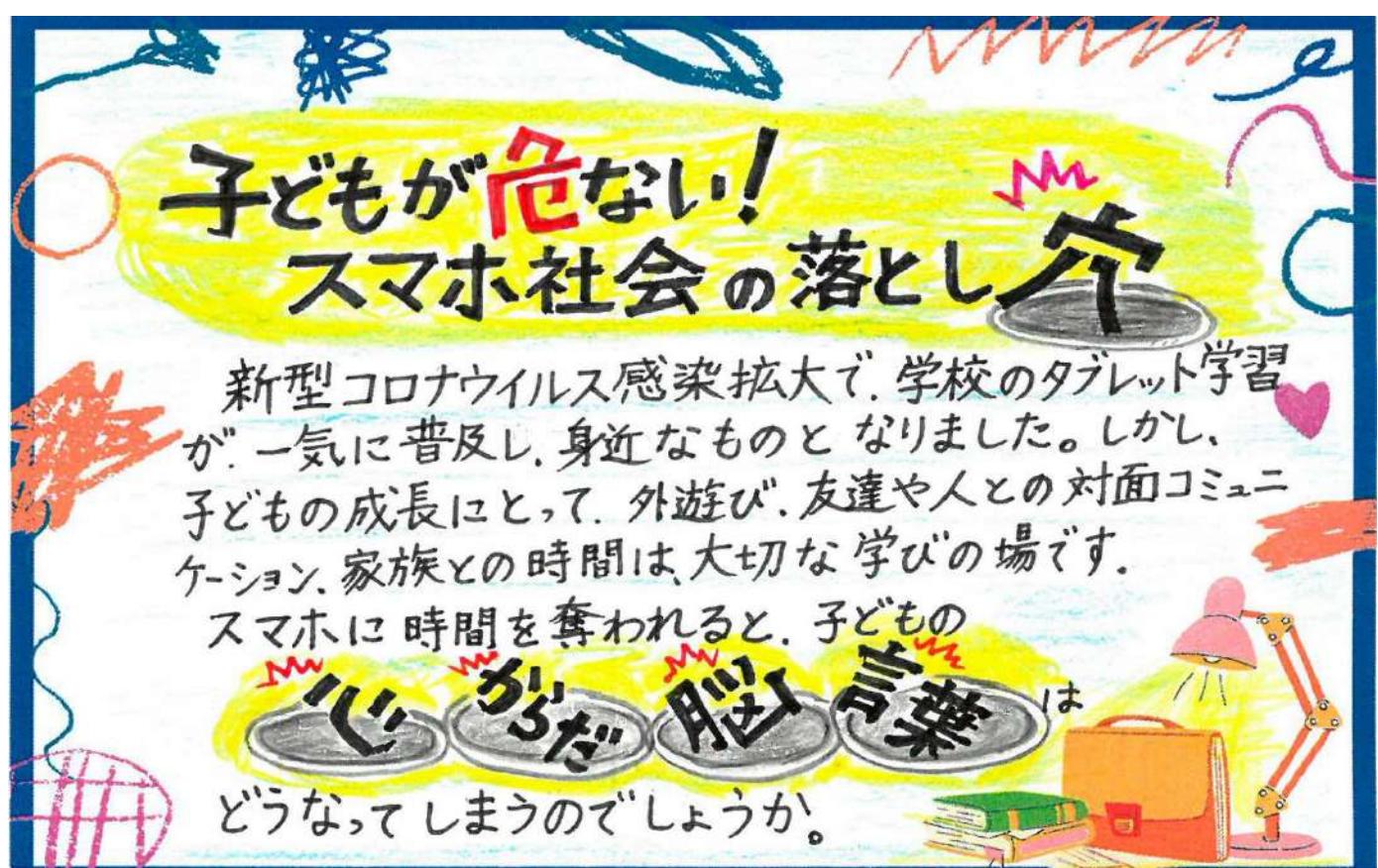
吐き出されていて、親による子の人権侵害を考えさせられとなりました。「子育てエッセイ」はひとつの人気ジャンルとして世に溢れていますが、彼女を苦しめたのは「他ならぬこの本」なのです。あなたはこの本をどう読みますか？

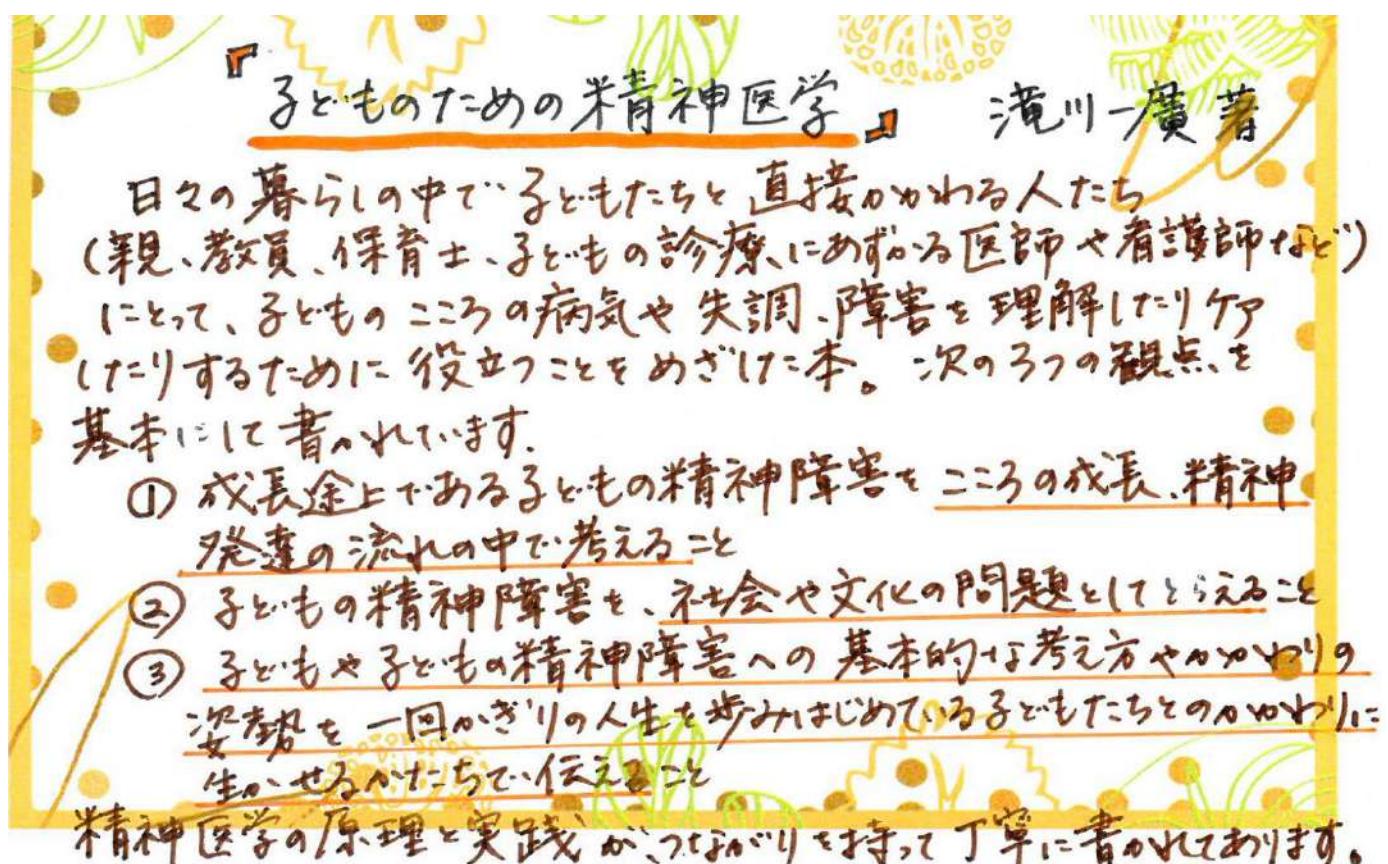
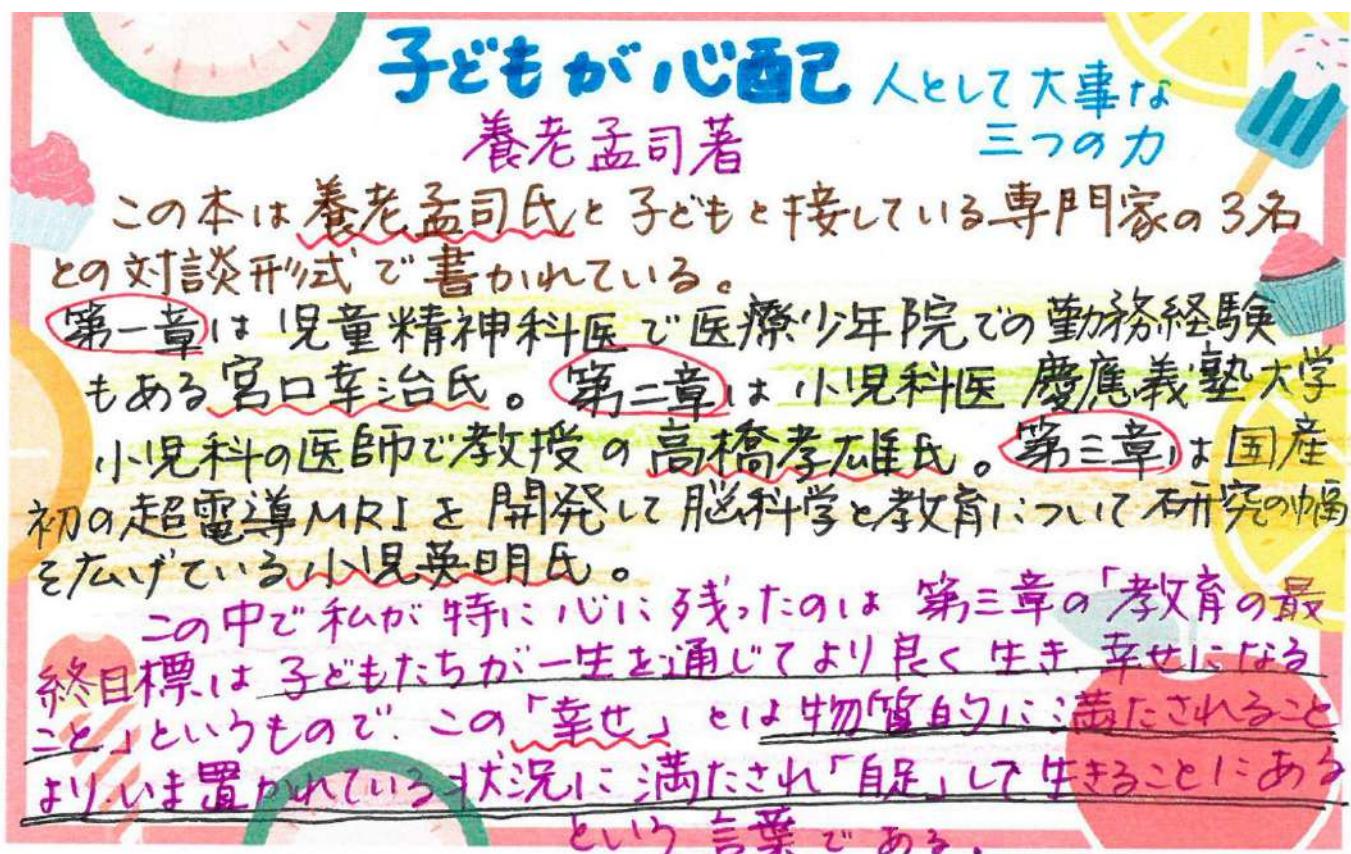
現在はSNSが人々の生活に浸透し、著名人たる子どもが子の成長を公開する親が散見されます。姿の公開はNGな、

日常会話の切り取りは問題ないのか、子の許可は

必要か、その判断を子どもはできるのか、

多くの考えるべきことが存在しています。







MEMO





MEMO





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2022年10月
子どもたちの現代社会 ~未来は子どもの手のなかに~

